

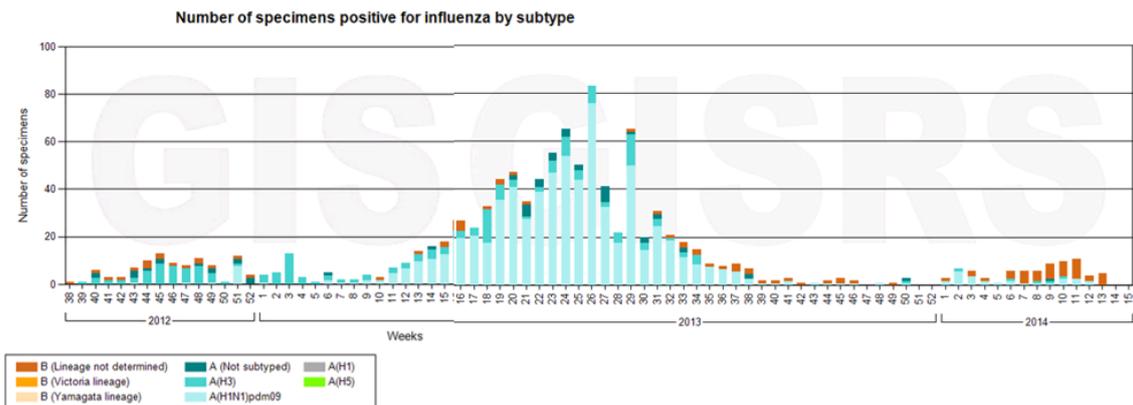
## コロンビアにおける季節性インフルエンザについて

2014年4月10日

在コロンビア日本国大使館

### 1. コロンビアの流行状況

コロンビアは、国土の大半が赤道より北に位置しますが、インフルエンザの流行状況につきましては下図のとおり日本とは約半年のずれがあり、6月から7月がピークとなります。コロンビア周辺の国々も概ね5月～10月に流行し、患者数は日本の10分の1程度です。



### 2. WHO（世界保健機関）推奨のワクチンについて

日本を含む北半球の国々では、WHOが2月中旬に発表する「北半球推奨株」に基づいてインフルエンザワクチンを製造、接種します。一方、南半球の国々に対しては、WHOから9月頃に「南半球推奨株」が発表され予防接種が行われます。今季の「南半球推奨株」は2013年9月26日に発表されました。

### 3. コロンビアにおける季節性インフルエンザ予防接種時期と対象者

コロンビア及び近隣諸国では南半球の流行パターンをとるため、5月頃までの接種が望ましいと考えられます。インフルエンザワクチンは接種後約10日～2週間で効果が発現し、およそ5ヶ月間有効で、有効率は約60%とされています。季節性インフルエンザ予防接種が望ましいと考えられるのは以下に該当する方々です。

- ・ 65歳以上の方
- ・ 慢性疾患や免疫疾患がある方
- ・ 妊娠中もしくはその可能性のある方
- ・ 生後6～59ヶ月の小児
- ・ 長期療養生活にある方
- ・ BMIが40以上の方（BMI=体重(kg) / {身長(m) x 身長(m)}）など

#### 4. 参考となる Web サイト等

##### <インフルエンザ Q&A>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

##### <日本のインフルエンザ対策>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html>

##### <WHO 発表の今季南半球推奨株>

Recommended composition of influenza virus vaccines for use in the 2014 southern hemisphere influenza season

([http://www.who.int/influenza/vaccines/virus/recommendations/2014\\_south/en/](http://www.who.int/influenza/vaccines/virus/recommendations/2014_south/en/))